

第7回ワークショップ(H18.11.25)振り返りシート集計

	Q1今日のワークショップで気づいたこと発見したことはありますか？	Q2今回のワークショップで発言できなかったこと、言い残したことがありましたらご記入ください。
1	住民自治条例は、住民に参画を促すものである。住民が参画しやすいためには、市の計画を知っていること、計画に対する実績がわかりやすく報告されることが重要であるとの認識になった。このことを実現するためには、計画段階からの市民の参画が必要であること。実績報告がわかりやすいためには、計画に数値目標が設定されていることが必要であるとの結論となった。	
2	参加メンバーがみんな北本市の将来について真剣に考えている。大変勉強になりました。住民全員が今日のメンバー位に関心があれば住民自治条例は必要でなくなると思います。	特になし
3	今日の出席者も14名。スタートの時の1/6。次回(最終回)は是非多数の人に出席して欲しい(事務局の方に お手数をおかけすることになります)。 反面、少人数のよさで今日のディスカッションは中味が濃かったと思います。	「総合振興計画」とラップする議論が多い。今にして思えば「総合振興計画」を勉強(おさらい)することから始めればよかったかなと思います。
4	総論としては意見の集約が出来た。 2分科会で発表できましたことは北本市の将来方向性が発見できました。	基本条例とその仕組みを明確化したかった。 北本市の特性とか市民と行政との協働のあり方とか新しい公共の原則について論じたかった。
5	自治条例の理念---(前文)の明確化が必要	一つの項目についての具体論が必要(時間不足)
6	皆が真剣に北本を心配しているという実感がありました。	時間がもっと欲しいと思う(毎回のことだが)
7	特になし	特になし
8	北本市の資産(資源、技術、産業、人材、文化、伝統)などが把握されていないのではないか？	自治があって自治だけではできないところに行政があると思うが、そのような認識をどう住民に持たせるかが課題。税収が逼迫する中で活発な自治が行われれば、税の重点充当(たとえば少子化・教育など)出来ると思う。
9	問題解決シートはわかりやすくてよい 資料にナンバーを付けるの件は1回だけですか	
10	第7回となり、メンバーは固定化されてきており、少しサビシイが進行、発表とスムーズに進行し、議論も深まりいいことである。 この調子で進めば良い条例が出来そうである。	
11		
12		